

ほほえみ

第16号 2009年 8月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~nanao/>

「和倉祭宴」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

私達は、真に国民全体の奉仕者であることを自覚し、職務に励みます。
私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
私達は、国の担うべき医療を推進し、地域に親しまれる病院を目指します。
私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

病棟建替工事の進捗報告	2
地域医療連携室紹介	3
リハビリテーション科紹介	4
「ふれあいイベント」を開催して	5

病棟建替工事の進捗報告

企画課 専門職 浜口 正

当院の病棟建替整備が昨年9月にスタートし、新病棟の建築スペースを確保するための準備工事が昨年12月25日に完了、本年2月5日より新病棟建替工事が本格スタートいたしました。

新病棟（機能訓練棟含む）は鉄筋コンクリート造4階建、約6,400㎡で完成予定が10月15日で約8.5ヶ月と短い工期となっております。この間に新病棟へ送るための電気工事、設備工事のため、停電、断水、冷暖房の停止、医療ガス設備の停止等を行わなければなりません。入院患者さまが居ながらの作業となり、患者さまの安全、療養環境を第一に考えての工程となりますので、色々と問題が発生いたします。冷暖房の配管工事は中間期しか作業できないので、5月～6月に1ヶ月かけて施工し、何とか冷房開始時期に間に合いました。また、当院は人工呼吸器を装着された重症の患者さまが30名近く入院されていますが、去る6月11日には保安回路（赤コンセント）が3時間、6月20日（白コンセント）が6時間の停電作業を実施いたしました。患者さま、ご家族さま、スタッフの方々、工事業者の皆さんのご協力のおかげで無事終了することができました。9月にはもう一度、一般回路（白コンセント）が3時間の停電作業を控えておりますが、前にも増して気を引き締めて取り組みたいと思います。

進捗状況は現在、3階の柱、4階床のコンクリート工事を行っており、周りに足場も組み、



図面で想像していたより遙かに大きいと感じております。今後はコンクリート工事完了後に窓サッシ、内装工事と進んでいきます。天候にも恵まれ何とか予定どおりの進捗状況となっております。新病棟の構造物が高くなるにつれて、既存病棟の病室が暗くなってきており入院患者さま、ご家族さまには大変ご迷惑をお掛けしておりますが、もうしばらくの間、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

花のある病院

病院の入り口に咲いていた
自生のささゆりの花です。



地域医療連携室紹介



医療社会事業専門員 宮原千夏子

はじめまして、4月から医療社会事業専門員（ソーシャルワーカー）として地域医療連携室の勤務になりました宮原千夏子です。仕事上院内ではピンク衣を着ております。

今年の3月に大学を卒業し、あっという間に4ヶ月が経ちました。面接では、患者様やご家族の相談に乗っているはずが…、いつの間にか、こちらが励まされながら頑張ってきたと気がつく今日この頃です。目下のところ院内外の関係者から教わりながら少しずつ進めていこうと奮闘中です。それでは、地域医療連携室の紹介をいたします。

◆ 在宅療養支援 訪問診療・訪問看護

通院が困難な患者様のご自宅に医師や看護師が伺い、診療・看護サービスを行います。必要に応じて、ソーシャルワーカーが同席し、生活面での福祉相談にのります。

◆ 在宅療養後の支援 レスパイトケア（入院）

地域生活を営む中で、障害のある方が、介護者の病気、出産、旅行など家族の事情で一時的に在宅での療養生活を送ることが困難になった場合、一時的な入院を利用し、負担を軽減するサービスです。必要時に必要な援助を提供できるよう支援いたします。

◆ 重症心身障害児(者) B型通園事業 ◆ 各種研修会の開催 ◆ 広報誌「ほほえみ」の発行

《相談内容》

◆ 退院相談…医師から退院の許可が出たが介護ができない場合。

→患者様・ご家族の思い、状況を踏まえて自宅退院希望か、転院希望かを話し合います。その他、介護保険サービス、市町村独自サービス、民間サービスの活用、施設紹介などの情報を提供いたします。

◆ 入院相談…電話でのご相談、直接来院されてのご相談。

→大まかな患者様の医療的状況、ADL（日常生活動作）、社会的背景などを伺います。医師とともに相談にのり、患者様の状況把握に努めます。

その他、療養中の心理的、社会的問題、経済的問題の解決、調整援助に努めます。

これからも、相談員、社会人として、皆様に教わりながら日々成長していきたいと考えております。皆様が大切にされたい生活の支援ができるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

お問合せ先

連絡先：0767-53-1890（代表）

内線183

時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）

8：30～17：15

地域医療連携室にお気軽にご来室下さい



リハビリテーション科紹介

運動療法主任 村 先 京 子

はじめまして、今年の4月より当院に赴任いたしました村先と申します。今回は、リハビリテーション科についてご紹介させていただきます。

現在、当院のリハビリのスタッフは、リハビリテーション医のもと、理学療法士（PT）4名 作業療法士（OT）2名で医師の指示のもとに入院・外来の患者様のリハビリを担当させていただいています。

リハビリテーションは、「re：再び habilis：適した ation：～にすること」という獲得された機能の回復という語源的意味があります。また、小児のなかでは、特に重度な障害を持ったこどもに対しては、「re：再び」を用いず、「ハビリテーション」が使われることもあります。



理学療法室

理学療法では、基本的な動作（寝返る、起きる、座る、立つ、歩くなど）を獲得できるようにさまざまな手技を用いて、日常生活における身体的なサポートをします。また、当院の特色でもあります“痛み”外来においても、主治医と連携しアプローチさせていただいております。

作業療法では、作業活動を通して、日常生活の拡大や維持のための支援をしています。他にも、心理面や食事についてもアプローチさせていただいております。

リハビリスタッフの数は決して多いとは言えない人数ですが、医師・看護師・地域連携室と協力して患者様の機能向上・日常生活の拡大のために取り組んでいます。

病院の玄関からは、一番遠くにあり、リハビリへ行くまでが大変だと不便な思いをされている方もいらっしゃると思います。新病棟が完成したあとには、続いてリハビリ棟も新しく建て替えになります。玄関からは少し近くなりますので、患者様には、これまでより快適な環境でリハビリを行っていただけるようになるとスタッフも期待しています。これからも、患者様への思いやりのサービスを目標に努力を重ねてまいります。

よろしくお願いいたします。



作業療法室



ふれあいイベントを開催して

第5病棟 副看護師長 中川 かつ枝

ナイチンゲールの誕生日にちなんで5月12日を「看護の日」と制定し、『看護の心をみんなの心に』をメインテーマに、看護の日を含む1週間を看護週間として、全国各地で様々なイベントが行われています。

当院では、5月12日（火）に市内のどんたくアスティ店の店頭において「ふれあいイベント」を開催し、医療チームによる健康チェック、健康相談、栄養相談、および障害児(者)の生活支援展示コーナー、看護の日グッズプレゼントを行いました。

このイベントは、毎年院内で健康チェックなどを行ってきましたが、七尾病院をより多くの方に知って頂き、地域に根ざした病院を目指すために、昨年から院外へ出向いて開催しています。

健康チェックコーナーでは、「今話題になっているメタボリックシンドロームを知っていますか？あなたの健康づくりに協力します」というタイトルで、身長、体重、血圧測定のほか、血糖測定、体脂肪測定、皮下脂肪厚、腹囲測定などを行いました。測定結果を基に医師2名による健康相談と、管理栄養士2名による栄養相談では、健康づくりに関する質問や相談が多く、日常生活や食生活の改善点などのアドバイスを行いました。また、生活習慣病の予防・改善に関するパンフレットの配布もしました。人気が高かったのは血糖測定で、「血糖も測ってもらえるの？」「血糖値も大事なんだってね～」などの声が聞かれ、近年増加しつつある生活習慣病に対する関心の高さが伺えました。

また、障害児(者)の生活支援展示コーナーでは、患者様の機能に応じ工夫して作られたスイッチやおもちゃ、コップ、椅子の展示と、入院生活の中での運動会や癒しの遊びなどの写真も紹介しました。質問をされる方々や興味深く見入っている親子、おもちゃで遊んでいるお子様の姿もみられました。

「ふれあいイベント」は開店直後の午前10時から12時までの2時間でしたが、100名以上という本当にたくさんの皆様にお越し頂き、盛況のなか終了しました。「どこの病院の人？」と聞かれ、行っている医療の内容についても話ができて、当院を知っていただく機会にもつながりました。

21世紀の高齢者社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心、思いやりの心を、みんなで分かち合うことが必要です。このようなイベントを通じ、短い時間でしたが、地域の皆様と交流を深めることができた喜びと、皆様の健康に対する意識の高さを改めて実感させて頂きました。



看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

*しばらく医療の現場から離れていた方への職場復帰を支援するための研修を行っています。ご利用下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:15

	月	火	水	木	金
内科	横地	浅賀 笠倉	陳	土島	堂下
神経内科	横地	浅賀	横地	品川	横地
呼吸器科		笠倉		笠倉	
消化器科	陳	陳	陳	陳	福村
小児科	松島	松島	松島		松島
外科 (ペインクリニック)	松島		松島		松島

※小児科の(月)、(金)の午後は、小児神経発達障害の診療も行ないます。

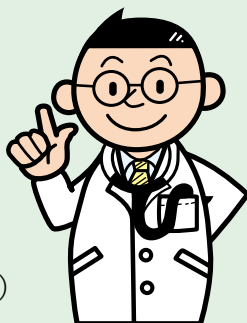
※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

今年度は、当院にとって新病棟の開棟という大きな節目になる年です。

ニューフェイスの中から地域医療連携室とリハビリテーション科の紹介を載せました。

編集長 横地英博